

# Cisco UCS C245 M6 SFF ラ ック サーバ

---

# Contents

製品概要.....	3
機能と利点.....	3
製品仕様.....	4
発注情報.....	6
保証に関する情報.....	7
シスコによるサポート.....	7
製品の持続性.....	7
製品環境情報.....	7
シスコおよびパートナーの提供サービス.....	8
Cisco Capital.....	8
文書の変更履歴.....	9

## 製品概要



Cisco UCS C245 M6 SFF ラックサーバーは、2 ラック ユニット (RU) フォーム ファクタの Cisco Unified Computing System ポートフォリオの機能を拡張し、AMD CPU および最大 256GB の個別 DIMM 容量を備えた 3200 MHz DDR4 DIMM 用の DIMM スロットがCPU あたり 16 枚追加されています。2 CPU での最大メモリ容量は 8 TB (32 x 256 GB DDR4 DIMMs1)。

## 機能と利点

C245 M6 SFFサーバには次のものがあります。

- 最大 24 台の前面 SFF SAS/SATA HDD または SSD (オプションで最大 4 台のドライブを NVMe にすることができます)。
- I/O 中心型オプションは、3 つの背面ライザーを使用して最大 8 個の PCIe スロットを提供します。
- ストレージ中心のオプションでは、合計 4 つの NVMe SFF ドライブと 3 つの PCIe スロットを備えた 3 つの背面ライザーが提供されます。

サーバーには次の内部スロットがあります。

- SAS / SATA ドライブを制御するための 4 GB キャッシュ バックアップを備えた 1 台の Cisco 12G SAS RAID コントローラ、または
- SAS / SATA ドライブを制御するための最大 2 つの Cisco 12G SAS HBA

注： NVMe ドライブは CPU から直接制御されます。

C245 M6 サーバーには、単一の 1 GE 管理ポートがあります。モジュール型 LAN on Motherboard スロットは、OCP 3.0 スロットに拡張でき、最大 2 つの 100-GE ポートを提供します。シャーシ前面のコネクタは KVM 機能を提供します。

Cisco UCS C245 M6 ラックサーバーはスタンドアロンまたは Cisco Unified Computing System の一部として使用できます。これは、単独の統合アーキテクチャにコンピューティング、ネットワーキング、管理、仮想化、ストレージアクセスを統合することで、ベアメタルと仮想環境の両方でエンドツーエンドのサーバー可視性、管理、および制御を可能にします。

## 製品仕様

表 1 C245 M6 SFF の仕様

機能/特徴	説明
シャーシ	2 ラックユニット (2RU) シャーシ
CPU	1 基または 2 基の AMD Milan または Rome プロセッサ
メモリ	レジスタード DIMM (RDIMM) または低負荷 DIMM (LRDIMM) 用の 32 スロット
マルチビット エラー保護	このサーバはマルチビット エラー保護をサポートします。
ビデオ	<p>Cisco Integrated Management Controller (CIMC) は、Matrox G200e ビデオ/グラフィックス コントローラを使用してビデオを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ハードウェア アクセラレーションを備えた内蔵 2D グラフィックスコアです。</li><li>組み込み DDR メモリ インターフェイスは最大 512 MB のアドレス可能メモリをサポートします (デフォルトで 8 MB がビデオ メモリに割り当てられます)</li><li>ディスプレイ解像度 最大 1920 x 1200 16 bpp @ 60 Hz をサポート</li><li>高速な内蔵 24 ビット RAMDAC</li><li>第 1 世代の速度で動作するシングルレーン PCI-Express ホスト インターフェイス</li></ul>
電源サブシステム	<p>以下のホットスワップ可能な電源ユニットから最大 2 つ選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>1050 W (AC)</li><li>1050 W (DC)</li><li>1600 W (AC)</li><li>2300 W (AC)</li></ul> <p>最低 1 台の電源ユニットが必須です。さらに 1 台を追加して 1 + 1 の冗長性を確保できます。</p>
前面パネル	前面パネル コントローラはステータス インジケータおよびコントロール ボタンを装備しています。
ACPI	このサーバは、Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) 4.0 規格をサポートしています。
ファン	ホットスワップ可能なファン (前面から背面への冷却用エアフロー) X 6
InfiniBand	InfiniBand アーキテクチャは PCIe スロットで使用可。
拡張スロット	<ul style="list-style-type: none"><li>ライザー 1A (3 PCIe スロット)</li><li>ライザー 1B (ドライブ ベイ X 2)</li><li>ライザー 2A (3 PCIe スロット)</li><li>ライザー 3A (2 PCIe スロット)</li><li>ライザー 3B (2 つのドライブ ベイ)</li><li>ライザー 3C (1 PCIe スロット)</li><li>Cisco 12G SAS RAID コントローラまたは Cisco 12G SAS HBA 専用スロット</li></ul>

機能/特徴	説明
インターフェイス	<p>背面パネル：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 つの 1Gbase-T RJ-45 管理ポート</li> <li>● RS-232 シリアル ポート (RJ45 コネクタ) x 1</li> <li>● DB15 VGA コネクタ x 1</li> <li>● USB 3.0 ポートコネクタ x 2</li> <li>● 各種のインターフェイス カードを搭載できるフレキシブル モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM) /OCP 3.0 スロット x 1</li> </ul> <p>前面パネル：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● KVM コンソールコネクタ x 1 (USB 2.0 コネクタ x 2、VGA DB15 ビデオコネクタ x 1、シリアルポート (RS232) RJ45 コネクタ x 1 を装備)</li> <li>● 最大 24 台の前面 SFF SAS/SATA ハード ドライブ (HDD) または SAS/SATA ソリッド ステート ドライブ (SSD) を搭載できます。</li> <li>● オプションで、最大 4 つの前面 SFF NVMe PCIe SSD。 これらのドライブは前面ドライブ ベイ 1、2、3、および 4 のみに配置する必要があり、CPU 2 に接続されず。残りのベイ (5 ~ 24) には、SAS/SATA SSD または HDD を装着できます。</li> <li>● オプションで、最大 4 台の SFF 背面 NVMe ドライブ。</li> </ul>
内部ストレージデバイス	<p>他のストレージ：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● マザーボード上のミニストレージ モジュール コネクタは、2 つの SATA M.2 SSD を保持するブート用に最適化された RAID コントローラ キャリアをサポートします。容量の異なる SATA M.2 SSD の同時使用はサポートされません。</li> </ul>
組み込み管理プロセッサ	<p>Cisco Integrated Management Controller (CIMC) ファームウェアを実行するベースボード管理コントローラ (BMC)。</p> <p>CIMC の設定に応じて、1GE 専用管理ポート、または Cisco 仮想インターフェイス カード (VIC) を介して CIMC にアクセスできます。</p> <p>CIMC はサーバ内の特定のコンポーネント (Cisco 12G SAS HBA など) を管理します。</p>
ストレージコントローラ	<p>1 つの Cisco M6 12G SAS RAID コントローラまたは最大 2 つの Cisco 12G SAS HBA を専用スロットに接続します。</p> <p>4GB FBWC を搭載した Cisco M6 12G SAS RAID コントローラ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● RAID サポート (RAID 0、1、5、6、10、50、60、SRAID0、および JBOD モード)</li> <li>● 最大 24 台の SAS/SATA 内蔵ドライブをサポートします。</li> <li>● 専用スロットに装着します</li> </ul> <p>Cisco 12 G SAS HBA：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● RAID はサポートされません</li> <li>● JBOD/パススルー モードのサポート</li> <li>● 最大 16 台の SAS/SATA 内蔵ドライブをサポートします。</li> <li>● 専用スロットに装着します</li> </ul>
モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM) /Open Compute Project (OCP) 3.0 スロット	<p>マザーボードの mLOM/OCP 3.0 専用スロットには、次のカードを柔軟に装着できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Cisco 仮想インターフェイス カード (VIC)</li> <li>● OCP 3.0 ネットワーク インターフェイス カード (UCSC-O-ID10GC)</li> </ul>
Intersight	<p>Intersight は、サーバ管理機能を提供します。</p>
Cisco Integrated Management Controller (CIMC)	<p>CIMC リリース 4.2(1) 以降が必要</p>

機能/特徴	説明
動作温度	最低 10°C ~ 35°C (50°F ~ 95°F)、直射日光なし。(A10、A100、または背面 HDD が取り付けられている場合、35°C (95°F) の制限は 30°C (86°F) に変わります)。 最大許容動作温度低下 950 m (3117 フィート) 以上で 1°C/300 m (1°F/547 フィート)
拡張動作温度	5 ~ 40°C (41 ~ 104°F)、直射日光なし 機能低下までの最大許容動作温度 950 m (3117 フィート) を越える場所で 1°C/175 m (1°F/319 フィート) 5 ~ 45°C (41 ~ 113°F)、直射日光なし 機能低下までの最大許容動作温度 950 m (3117 フィート) を越える場所で 1°C/125 m (1°F/228 フィート) 拡張動作温度の範囲で動作している場合、システム パフォーマンスに影響が出る場合があります。 40 °C 以上での動作は、年間動作時間の 1 % 未満に制限されます。 ハードウェア構成の制限が拡張動作温度範囲に適用されます。
保管温度	-40°C 以下または 65°C 以上 (-40°F 以下または 149°F 以上) 最大変化率 (動作時と非動作時) 20 °C/時 (36 °F/時)
動作時の相対湿度	8 ~ 90%、最大露点温度 24°C (75°F)、非凝縮環境
非動作時相対湿度	5 ~ 95%、最大露点温度 33°C (91°F)、非凝縮環境
動作時の高度	0 m ~ 3050 m (10,000 フィート)
非動作高度	0 m 以下または 12,000 m (39,370 フィート) 以上

## 発注情報

サーバーのインストールまたはアップグレードに関する情報については、『ハードウェア設置ガイド』を参照してください。構成情報については、[Cisco UCS C245 M6 サーバーの仕様表](#)を参照してください。

表 2 発注情報

製品 ID (PID)	説明
UCS-M6-MLB	UCS M6 ラック、ブレード、シャーシ Major Line Bundle (MLB) この MLB は、サーバー ノード (UCSC-C245-M6SX6) 型番とソフトウェアの型番で構成されます。この PID を使用して新しい設定を開始します。
UCSC-C245-M6SX1	24 ドライブ バックプレーン付き小型フォームファクタ (SFF) ドライブ <ul style="list-style-type: none"> <li>フロントローディング ドライブ ベイ 1 ~ 24 で 2.5 インチ SAS/SATA ドライブをサポート。</li> <li>オプションで、フロントローディング ドライブ ベイ 1、2、3、4 は 2.5 インチ NVMe SSD をサポートしています。</li> <li>オプションで最大 4 台の背面 NVMe ドライブ</li> <li>CPU、メモリ、ドライブ、PCIe カード、電源は含まれません。</li> </ul>

## 保証に関する情報

Cisco UCS C245 M6 サーバーには、3年間の翌営業日（NBD）のハードウェア保証と90日間のソフトウェア保証があります。

## シスコによるサポート

Cisco Smart Net Total Care および Cisco Solution Support サービスは、シスコ テクニカル サービス ポートフォリオの一環として、Cisco Unified Computing System（Cisco UCS）保証を強化するものです。Smart Net Total Care には、受賞歴のある、業界をリードするシスコの基本的なテクニカル サービスが含まれています。また、Smart Net Total Care ポータルのスマート機能を通じて、実用的かつ高度なビジネス インテリジェンスも提供されます。[Smart Net Total Care](#) の詳細をご覧ください。

Cisco ソリューション サポートには、シスコ製品サポートとソリューションのサポートの両方が含まれており、製品サポート単体の場合よりも平均 43% 迅速にマルチベンダー環境の複雑な問題を解決します。Cisco Solution Support は、データセンター管理の重要な要素であり、パフォーマンス、信頼性、投資回収率を維持しながら、発生した問題の迅速な解決を支援します。

このサービスは、エコシステムに導入されたシスコ製品とソリューションパートナー製品の両方に対応するため、マルチベンダーのシスコ環境全体でのサポートが一元化されます。シスコ製品またはソリューションパートナーの製品のどちらにも問題がある場合でも、シスコにご連絡ください。シスコのエキスペートが主な連絡窓口となり、最初のお電話から問題の解決までお客様をサポートします。[Solution Support](#)の詳細をご覧ください。

## 製品の持続性

シスコの環境、社会、ガバナンス（ESG）の活動に関する詳細は、シスコの企業の社会的責任（CSR）および持続性 [レポート](#)を参照してください。

表 3 シスコの環境保全に関する情報

持続可能性に関するトピック		参照先
全般	製品の材料に関する法律および規制に関する情報	<a href="#">材料</a>
	製品、バッテリー、パッケージを含む電子廃棄物法規制に関する情報	<a href="#">WEEE 適合性</a>
	製品の回収および再利用プログラムに関する情報	<a href="#">Cisco 回収および再利用プログラム</a>
	持続性に関するお問い合わせ	お問い合わせ先： <a href="mailto:csr_inquiries@cisco.com">csr_inquiries@cisco.com</a>
	動作および非動作条件	<a href="#">製品仕様</a>
材料	製品パッケージの重量と材料	お問い合わせ先： <a href="mailto:environment@cisco.com">environment@cisco.com</a>

## 製品環境情報

欧州委員会規則（EU）2019/424 に基づくユーザー向け製品環境情報  
<https://www.cisco.com/web/dofc/22568110.pdf>

## シスコおよびパートナーの提供サービス

シスコは、業界をリードするパートナー企業とともに、Cisco UCS X シリーズ モジュラ システム ソリューションの導入と移行を支援するサービスを提供します。シスコ ユニファイド コンピューティング システム サービスは、俊敏性に優れたインフラストラクチャの構築、価値実現までの時間の短縮、導入および移行時の可用性の維持をサポートします。また導入後は、ビジネス ニーズの変化に応じたパフォーマンス、可用性、および復元力の向上をサポートすることで、さらなるリスクの軽減を可能にします。詳細については、

[https://www.cisco.com/c/ja\\_jp/products/servers-unified-computing/service-listing.html](https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/servers-unified-computing/service-listing.html) を参照してください。

## Cisco Capital

### 目的達成に役立つ柔軟な支払いソリューション

Cisco Capital により、目標を達成するための適切なテクノロジーを簡単に取得し、ビジネス変革を実現し、競争力を維持できます。総所有コスト (TCO) の削減、資金の節約、成長の促進に役立ちます。シスコの柔軟な支払いソリューションは 100 か国以上で利用可能であり、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、およびサードパーティ製の補完的な機器を、利用しやすい計画的な支払方法で購入できます。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

## 文書の変更履歴

新規トピックまたは改訂されたトピック	説明	日付

**米国本社**  
Cisco Systems, Inc.  
カリフォルニア州サンノゼ

**アジア太平洋本社**  
Cisco Systems (USA), Pte. Ltd.  
シンガポール

**ヨーロッパ本社**  
Cisco Systems International BV  
Amsterdam, The Netherlands

2023 年 11 月発行

© 2023 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、[www.cisco.com/ipgo/trademarks](http://www.cisco.com/ipgo/trademarks) をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。1175152207 10/23

